

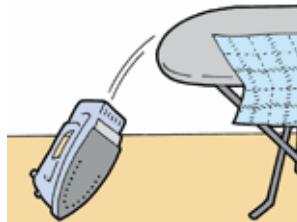
フローリング

現象 13 フローリングにキズができて見栄えが悪くなってきた

原因 物を落としたり、引きずったりするとキズがつく



鋭利な物を引きずったりスリッパの裏に付いた砂で擦れてキズが付きます。



重量物などを落とした時に凹んでしまいます。

(フローリングの性能に影響を及ぼすことはありません)

DIY 市販の床補修セットで補修する

DIY難易度

難しい



DIY作業時間

30～60分

用意するもの



補修セット(かくれん棒PRO)

DIYにかかる費用

補修セット/1,500円～

専門業者への作業依頼費用

(部品・材料費は除く)/10,000円～

手順



01 補修箇所の周囲に合った色のかくれん棒PROを選び電熱補修コテの上で溶かしキズの箇所だけに盛り上がるように流し込みます。

※色を選ぶ時、木目以外の下地色より少し明るい色を選びます

※調色する場合、補修箇所に重ね合わせた耐熱調色プレート上で周囲の色に合わせて電熱補修コテで溶かし合わせてください。



02 電熱補修コテを傾けて少しずつ溶かしながら手前に引き平らに仕上げます。



03 耐熱保護ジェルやかくれん棒をきれいに取り除きます。



04 必要に応じて木目書きペンで木目を書きたくします。施工後の付着が気になる場合は保護液も併せて使いましょう。

ポイント

数種類のパテを混ぜ色を合わせます。

木目は近似色のペンで描いた後、指先でインクをぼかしながら行くと目立たなく仕上がります。

日頃のお手入れ

ワックスをかける目安は約1年毎に塗るのが理想です。ただし最近のフローリングはワックスタイプとノンワックスタイプがありますので、よく確認してください。また以前に塗ったワックスが、水系か油性かを確認してから塗らないと塗リムラを起したりトラブルが発生します。ワックスの成分や説明書をよく確認して塗ってください。化学モップに塗られている薬品がフローリング表面のワックスと化学反応を起こし、表面に濁りが生じることがあるので注意しましょう。

COLUMN

水に濡れやすい場所にはマットを敷き水分から保護し、日光のよく当たる場所はカーテンやすだれなどで日焼け予防をしましょう。浅いキズにはペン補修の方が適しています。